

六丈銭だより

12月号

上田駅前交番
TEL 0268-22-8613
作成者 山崎



冬山遭難防止



県内の山岳は、厳しい雪山の様相となり、本格的な冬山シーズンを迎えます。
例年、スキー場のコース外滑走やバックカントリー遭難、悪天候による行動不能や道迷い遭難などが多発しています。

冬山で行動不能になると、低体温症等の危険が高まり、死に至るケースもあります。

長野県の冬山の特徴として、北アルプスなど県北部の山岳では、周期的な厳しい寒気の入り込みにより、吹雪が数日間も続くことがあり、またハケ岳や中央アルプスなど県中部や南部の山域では、好天でも気温が低く、猛烈な風が吹き荒れることがあります。

冬山は、吹雪や積雪などの自然条件に大きく影響されるため、ほかのシーズンに比べ、多くの装備、強靱な体力、高度な技術、判断力が必要になります。

救助活動についても、積雪や悪天候に阻まれて迅速に行うことができない場合があり、遭難者は救助されるまで、数日に及ぶビバークを余儀なくされることもあります。

登山をされる皆さんは、体調管理を万全にするとともに、少しでも不安のある場合には、登山を中止しましょう。

冬山の厳しさを認識した上で、次の点に注意して安全登山に心掛けてください。

① 余裕ある登山計画を立てる

日程や登山コース、危険箇所などを参加者全員で十分に検討し、それぞれの体力や技術に見合った余裕ある登山計画を立てましょう。

積雪期の登山ルートは夏道と異なる箇所が多いため、コースを熟知している人がいなければ、入山は危険です。



② 行動予定は家族等と共有

電子申請などインターネット等を活用し、必ず事前に登山計画書を作成・提出し、家族や友人のほか、職場等にも共有しておきましょう。

特に単独登山者は、行方不明となった場合に、捜索の手掛かりとなるため、必ず届出と共有をしましょう。



③ 単独登山は要注意

単独登山は、遭難時にケガなどで救助要請ができない場合があります。また、行動中の様々な判断やトラブル対応を、一人で行わなければならないため、複数人での登山よりも多くのリスクを伴うため、注意が必要です。



④ 十分な日程と装備で

冬山は悪天候が続きます。

停滞を見越した余裕のある日程で、燃料や食糧を十分に携行しましょう。

また、ビーコン等の装備品の取扱いに習熟するほか、携帯電話などの通信手段の確保や予備バッテリーの携行も重要です。



⑤ 最新の気象情報を確認

積雪が多い山域は雪崩のリスクが高まります。入山前から、最新の気象情報を必ず確認しましょう。

また、前線や低気圧が通過したり、冬型の気圧配置が強まるなどの場合は、山の天気は大荒れとなりますので入山を中止しましょう。